

図工は
苦手?!

小学校教科専門科目・図画工作の授業から

グループワークで楽しさ100倍!!

美術コース以外の学生の中には図画工作が苦手だという声もあります。

上手下手ではなく、まずは紙・木・粘土・絵具・パスなど、色々な素材自体をみんなで楽しみます。

グループワークで授業を進めると、自然と会話がはずみ、それぞれの役割も生まれ、アクティブラーニングが始まります。

互いにアイデアを出し合い、協力し合い、一つの作品を完成させる。その過程を楽しむのが一つの目的です。

粘土を使って



粘土をひたすら紐状に伸ばします。これは、後に工芸作品を作る際に使用する「紐づくり技法」へとつながります。みんなで協力してどんどん伸ばすと、長い長い龍になりました。

お団子をつくって、穴をあけると顔が出来ました。粘土は付けたり取ったり、手で形を自由に変えられるので、立体作品をつくるのにはもってこいです。色々な顔をどんどん積んで、どのグループが一番高い?!

紙粘土を使って



「仲良く半分こオムライス」

木と釘を使って



「大教の妖精たち」

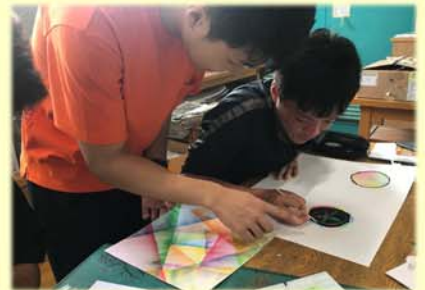


木を切り、釘を打つ。キャンパス内で拾った木の葉や落ち葉も使って、各自で制作後、外に出て集合写真を撮りました。

「富士山の上で友達100人と食べるお弁当」
どこで、誰と、どんな時に食べるお弁当にするか？相談して決めた後、アイデアスケッチをもとに、それぞれが各具を担当しました。紙粘土は絵具を混ぜて色粘土にしたり、後から着色したり、空き箱に貼りつけて装飾できるのが特徴です。

パスを使って

講師：伊吹拓



オイルパステルは描くだけでなく、こすったり削ったりすると独特の表現がうまれます。テーマに合わせて、型紙を使って手で色をのぼし「ぼかし」表現を使ったり、割りばし鉛筆で引かって模様を描いたり。グループ内であれこれ相談したり、先生にアドバイスもらったりして作品に仕上げます。

絵具を使って

講師：須増啓之

水分の量によって絵具の表情は変わりますので、トトロ絵具やシャバシャバ絵具を用意。網で霧状に飛ばしたり、ローラーでコロコロしたり、糸やビー玉を使ったり。手で広げたりぶくぶく泡立てたり。筆で塗るのではなく、絵具を使った色々な技法を試してみます。それぞれの特徴や表現を、どんどん試して、体験することが大切になります。



色々試すと、いつの間にか表情豊かな色紙がたくさんできます。

自分たちで描いた色紙を切って貼ってコラージュ作品をつくりまします。どの色紙の、どの部分を使おうか。楽しく、真剣に取り組んでいます。

